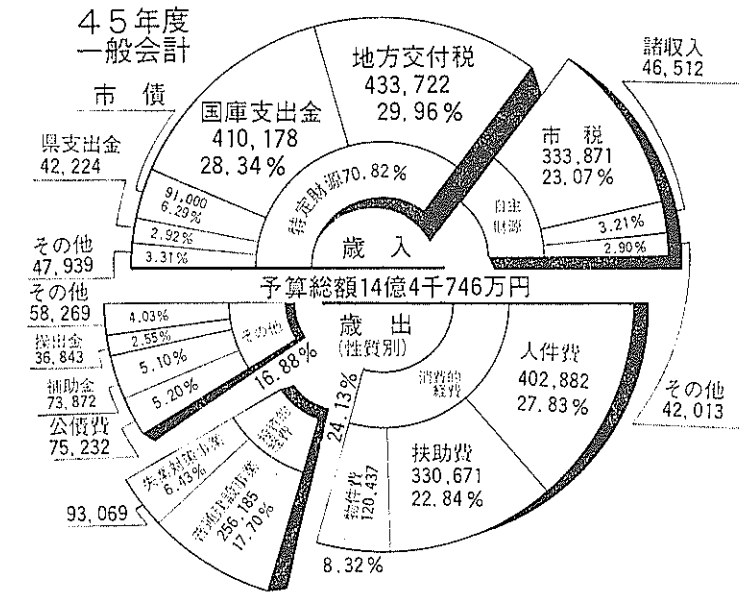


予算総額

14億4千万円



▽……ことしの市行政を推しすすめてゆくための、本年度当初予算……△
 △……算は、去る三月の定例市議会で議決をみましたが、これ……△
 △……での当初予算にはみられないような思いきった計上がな……△
 △……られています。

四十五年度当初予算

長期振興計画を軸に

財政の健全化はかる

四十五年度
の南国市政の
方向を決める
当初定例市議
会が三月十日
から二十四日
まで十五日間
にわたって開
かれ、四十五
年度一般会計
当初予算十四
億四千七百四
十六万円のほ
か市庁舎建設
積立基金条例
の開設、香南
清掃組合の設
立、市水道条
例・市課設置
条例の一部改
正などが決め

られました。

一般会計の当初予算総額十四億四千七百四十六万九千九百九十九円は昨年の十一億一千八百九十九万九千九百九十九円と比べて三億二千九百九十九万九千九百九十九円と、人件費や生活扶助費など、義務的経費の割合も高くなり財政の硬直が目立ってきています。

こうした中で北陵中屋内体育館、香南中プール、白木谷幼稚園の新設など教育施設の整備。市道、農林道の施設改良については、過剰対策の面からも、林道ツルベ線開設工事、市内一円舗装、基幹生活道、空港周辺の道路整備事業など。

また、同和対策事業としては、公営住宅(二〇戸)の建設のほか西山越戸線道路改良、前浜地区道路改良などが実施されることとなっていますが、自主財源による積

市の台所へ 入ってくる金

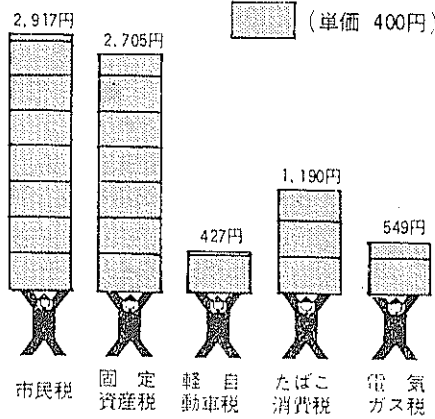
ことし、市へはいるもので、昨年より特に大きく伸びをみただけは、国庫支出金の一億六千万円(増加した額)と地方交付税八千四百四十万円(同)があり、市税、諸収入、市債(借り入れ金)も昨

県職員を経て二十二年旧久礼田村助役



三十年同村長、三十二年同後免町助役
三十五年より一時民間会社に奉職四十一年四月市助役に選任され、こんど二期目

市民一人当りの市税負担額



市民のために 使う金

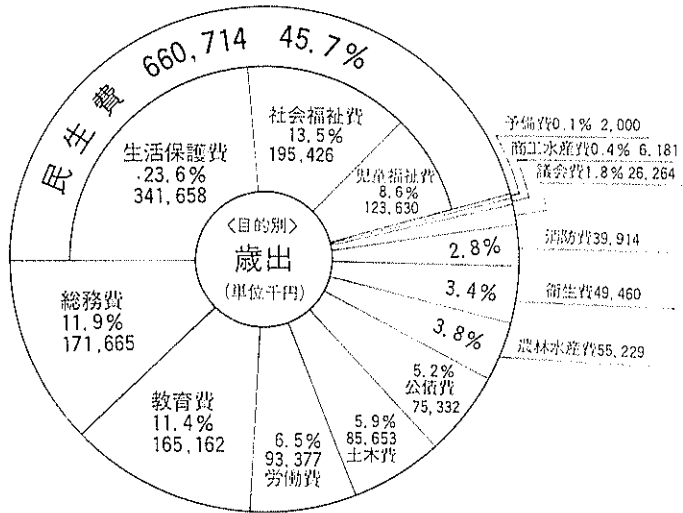
市民サービスのためにことし市が使う経費を目的別にみると、まず、消費的経費が五十九割と全体の半数を占め、建設事業に使用する投資的経費は二十四、一割残り公債費(借り入れ金の返済金と利子)や補助金などに使われています。

ほぼ六割を占めています消費的経費のうち、人件費(特別職、各種委員、一般職の給与など)▼四億二百八十八万九千九百九十九円が最高で、八割と市税収入よりも六千九百九十九万九千九百九十九円は多く、二十一、八割の扶助費(生活・医療)▼三

億三千六十七万九千九百九十九円ととも年々ふくれあがる傾向にあって、地方自治体のもっとも頭のいたいところとなっています。

また諸物価の値上がりにもなる備品、消耗品などの物件費もやや上昇の一途をたっています。

費用別では、民生費が全体の四十五・六割▼六億六千七百七十一万九千九百九十九円を大きく引きはなしています。



徳橋助役を再選

臨時市議会

四月六日に開かれ、臨時市議会が助役を二人制にする議案と、同日限りで任期のきた徳橋助役を再任する議案、これまで欠員中の教育委員に山崎喜一氏(67)

下末松IIを選任する議案が上程され、徳橋助役、山崎教育委員の選任議案は可決されました。

密議となりました。徳橋助役の経歴
大正七年八月十二日生れ
久礼田、高知農林卒

無料 法律人権・行政相談

毎月20日 10時~15時 後免町公民館

- 人権擁護委員 黒 滝 佐 竹 安 意
- 行政相談員 上野田 高橋 長 教 行政相談員
- 亀 岩 島 木 直 治 下末松 山 崎 喜 一
- 前 浜 浜 田 弥 芳 稲 吉 山 崎 豊 憲